

日本で育った!!

かんぽう と わたし



vol.1 漢方のぎもん



北里大学東洋医学総合研究所



きもん1

「漢方」って、中国の医学でしょ？

漢方は日本の医学です！

漢方は古代中国の医学を基本としていますが、日本人に合うように独自に発展してきた日本の伝統医学です。明治時代初期までは、漢方が日本の医学の主流でした。

日本の伝統医学 ▶▶▶ 漢方医学
中国の伝統医学 ▶▶▶ 中医学

●漢方医学と中医学の違い

	生薬の組み合わせ方	診察方法
漢方医学	経験に基づいて生まれた「生薬の組み合わせ」を用いる	腹診を重視
中医学	生薬のもつ効果に基づき、症状に合わせて組み合わせる	脈診を重視

きもん2

病名がわかれば、「漢方薬」が決まる？

「証」が決まると漢方薬が決まります！

漢方医学では、病名が同じであっても、患者さんの「証」が異なれば、異なる漢方薬を処方します。逆に、病名が異なっても、患者さんの「証」が同じであれば、同じ漢方薬を処方します。

「証」とは、問診や舌診・脈診・腹診などの漢方医学的な独自の診断方法に基づいて決まる、いわば「タイプ」のようなものです。



きもん3

「漢方薬」って、副作用はないでしょ？

漢方薬も医薬品なので副作用はあります！

漢方薬に用いられる生薬の中には、注意が必要な生薬もあります。

生薬	症状
麻黄(まおう)	興奮・血圧上昇・動悸・頻脈・排尿障害など
地黄(じおう)	食欲不振・下痢など
大黄(だいおう)	腹痛・下痢・食欲不振など
附子(ぶし)	動悸・のぼせ・舌のしびれ・吐き気など
甘草(かんぞう)	血圧上昇・むくみ・のぼせ、めまい感など

漢方薬の副作用には生薬の量を減らしたり、漢方薬を中止したりすることで対応できます。副作用に注意をはらって服用することが大切です！

きもん4

生薬って、「漢方薬」のことですよ？

生薬の組み合わせが漢方薬です！

漢方薬は、複数の生薬を先人の経験により組み合わせたものです。生薬を漢方的根拠なく組み合わせたものは、「生薬製剤」と称され「漢方薬」とは異なります。

漢方薬

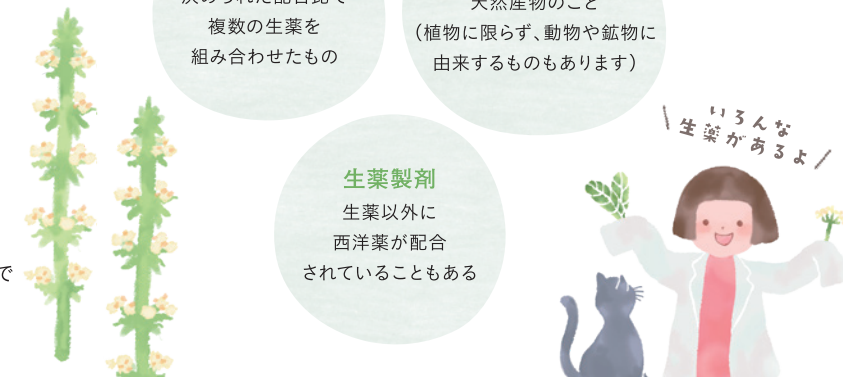
決められた配合比で複数の生薬を組み合わせたもの

生薬

薬効のある天然産物のこと(植物に限らず、動物や鉱物に由来するものもあります)

生薬製剤

生薬以外に西洋薬が配合されていることもある



きもん5

「漢方薬」って、顆粒剤ですよ？

漢方薬の基本型は煎じ薬です！

煎じ薬は、生薬を漢方処方に従った組み合わせで計量し、40分から50分煎じたものです。それを抽出したエキスを製剤化したのが、顆粒剤です。

例えるなら…

煎じ薬 ▶▶▶ ドリップコーヒー
顆粒剤 ▶▶▶ インスタントコーヒー

漢方薬の顆粒剤を粉薬のように服用している人を見かけますが、それはインスタントコーヒーを粉のままでも飲むのと同じことです。約100mLのお湯で、溶かして服用するのが適切な服用方法です。

